

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

横浜サステナビリティ研究センター有限責任事業組合

② 施設・事業所情報

名称：横浜市すすき野保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：道下亜子	定員（利用人数）： 106名
所在地：横浜市青葉区すすき野2-8-6	
TEL：045-902-7207	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：1980年6月2日	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員： 19名 非常勤職員 25名
専門職員	（保育士） 38名
施設・設備の概要	（居室数）保育室6室、遊戯室、事務室、休憩室 （設備等）厨房・調乳室各1室・トイレ4か所、プール、園庭、ビオトープ

③ 理念・基本方針

【保育理念】

すべての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信を持って生きていけるように、環境を整え、適切な援助を行い幸せに生きる権利を保障していきます。～よこはまの保育より～

【保育方針】

- ・年齢に合ったあそびや体験を積み重ねられるような環境を整えます。
- ・一人ひとりの子どもの思いを受け止めて保育を行います。

【園目標】

のびのびとあそぼう～豊かな心と丈夫なからだ～

【保育姿勢】

- ・自立性を大切にし、自ら遊びたくなるような環境を整える。
- ・一人ひとりが安定し、安心して過ごせるようにする。
- ・生活習慣の自立をはかる。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

横浜市すすき野保育園は東急田園都市線あざみ野駅から東急バス「虹が丘団地」徒歩5分、すすき野団地と虹ヶ丘団地の中に建っています。園舎は鉄筋コンクリート2階建てで、1階は0歳児から2歳児の保育室、2階には3歳児から5歳児の保育室と遊戯室があります。乳児室が1階にあることで外遊びへの出入りが子どもたちの成長に合わせて行うことができます。0歳児から5歳児までの定員106名で現在は102名が在籍している大型園です。周辺には、嶮山公園やすすき野公園等多くの公園があり、街路樹なども多く緑豊かな自然環境に恵まれています。また、幼児クラスになると徒歩30分以上歩いて「王禅寺ふるさと公園」等に散歩や遠足にでかけています。

園庭は全園児がのびのびと遊ぶことができる広いスペースになっており、大きなプールも備え付けられています。園庭には様々な木々や垣根等が植えられ、季節によって落ち葉遊びや垣根のトンネルくぐり等も楽しめる環境にあります。園内の畑ではサツマイモを育て、子どもたちが普段の生活の中で生長を感じ、収穫等を通して土に触

れる体験ができます。「みかんの森」と名付けられた場所には、ウッドデッキや小さな築山をつくり子どもたちが自由に遊ぶ中で体幹を鍛えるとともに、経験の幅を広げています。園舎裏には、ビオトープがありメダカのお世話を年長児が中心に行っています。

地域との交流・子育て支援も大切にしています。地域ケアプラザや近隣の民間園とともに地域の子育て支援イベントを計画・実施したり、ドッチボール交流等で子ども同士の交流を行っています。地域の高齢者折り紙サークルとの交流では、園の夏祭りのおもたちのお土産を作ってもらったり、地域ケアプラザで折り紙屋さんを開いてくれ子どもたちが買い物ごっこを楽しんだり、高齢者の方々も子どもたちもお互いに喜んでいる姿が印象的です。青葉区と取り組んでいるInstagramでは、保育園の子どもを配信することで、在園の保護者とのコミュニケーションが深まっています。また、その中の園紹介では、すすき野保育園だけではなく民間園等に職員が撮影に行き、編集し、配信しています。

保育園の課題については会計年度任用職員も含めた3つのプロジェクトチームを作り、「10の姿を深めた隊～保育所保育指針10の姿の理解を深めよう～」「あつまれすすき野の森～保護者と一緒に楽しむ保育園作り～」「With会～お互いリスペクトできる関係を～」として園内研修や保護者への配信を行い、保育の質の向上に繋げチーム力の向上となっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月1日（契約日）～ 2024年2月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2018年度）

⑥総評※評価機関記入、1000字程度目安

◇特長や今後期待される点

当園の廊下に「当月生まれの先生たち」の写真と保育士のコメントを貼付したコーナーがあります。これは人権の尊重の一貫として保育士同士のコミュニケーションとリスペクトを高めるための工夫の結果で、保護者や子ども達にとっても親近感が湧いてくる試みです。そしてこの取組みは令和5年度青葉区運営方針の一つ「チーム力・職員力を高める」という方針にも沿っています。園内に保育の具体的な方針をカラフルな吹き出しで表現した「ほいくえんだいすき」のポスター、子どもの体験と進路を表した「いろんなことまらそん」や「10の姿」の大樹のポスター等が掲示されています。これらの手作りのポスターには保育の目標や方針が記載され子ども達の姿や保育についての保護者の理解を深めています。また、これらは保育園業務支援システム「コドモン」にて配信され、子ども達の「豊かな感性と表現」を育む保育活動について保護者におのずと浸透していくものと感じました。

当園は広い園庭に恵まれており、2か所の砂場、3つのグランドハウス、備え付けの遊具の他、手押し車やポックリ等の様々な遊具・玩具もあり、子ども達が園庭で思い思いの遊びをのびのびと楽しんでいる様子がうかがえました。この園庭をさらに充実させるために、園庭系の保育士が中心となって園庭の改造を企画・実行し、園庭の砂や樹木、遊具・玩具を毎日安全点検して、子ども達が安心・安全に園庭で遊べるよう努めています。

また、運動会や夏まつりを始め、外部講師による体育指導、地域サークルによる和太鼓やお話会、美大生による創作絵本の読み聞かせ、地域ケアプラザでの高齢者との交流会、東急バス営業所への見学等々、様々な体験ができるよう工夫を凝らしたカリキュラムとなっています。子ども達が身近な社会と関わる機会や、保育士以外の大人と一緒に体を動かしたり絵本を読んだりする機会等、豊かな心と丈夫な体を育むための様々な取り組みを行っています。訪問調査の際にも調査員に沢山の子ども達(幼児

クラス)が明るく話しかけ、積極的に交流しようとする姿が見られました。

組織的に保育の質の向上に向けて取り組んでおり、課題の改善策を次年度の目標として設定して計画的にPDCAサイクルを実行しています。

YouTubeやInstagram、様々な情報サイトを活用して、利用者、子育て世帯・地域住民、幼保学生・求職者など、幅広い対象者に向けて情報発信を図っています。

ミーティングや会議の議事録等、手書きの書類が多いため、情報の分散や業務の負担増加が懸念されます。今後、ICT（情報通信技術）をさらに活用し、各記録簿に手書きして分散している情報の集約化・共有化、職員の負担軽減を図ることを期待します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審に向け、各職員の業務分担に合わせて評価項目を担当する少人数の複数グループを編成しました。その話し合いの中での気づき等を全体で共有・必要があれば検討していくことで、すすき野保育園の保育についての理解を深めながら準備をすすめることができました。

調査員の方とのヒアリング等を通して、アンケート結果だけで評価するのではなく、「どうしたらより良くなるか」と考え工夫している部分も評価して頂いていることを大変うれしく思います。また、子どもたちがのびのびと遊べるために行なっている園庭改造や地域の様々な年代の方との交流、職員によるプロジェクトチームでの活動等、すすき野保育園が大切に取り組んできた保育内容を評価して頂いたことは、改めてすすき野保育園の強みを確認すると共に、職員のモチベーションの向上になりました。

今回、評価機関の方からも参考となるご意見を頂きました。今後、保育や園運営に活かし、利用者の皆様にとっても、職員にとってもより良い保育園となるように全職員で力を合わせてまいります。

さいごに、第三者評価受審にあたりご尽力いただいた評価機関の皆様、ご多忙の中アンケートにご協力頂いた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

横浜市すすき野保育園 道下亜子

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり